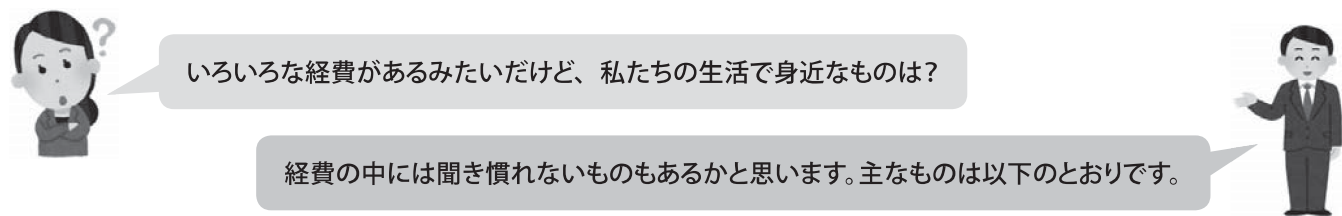
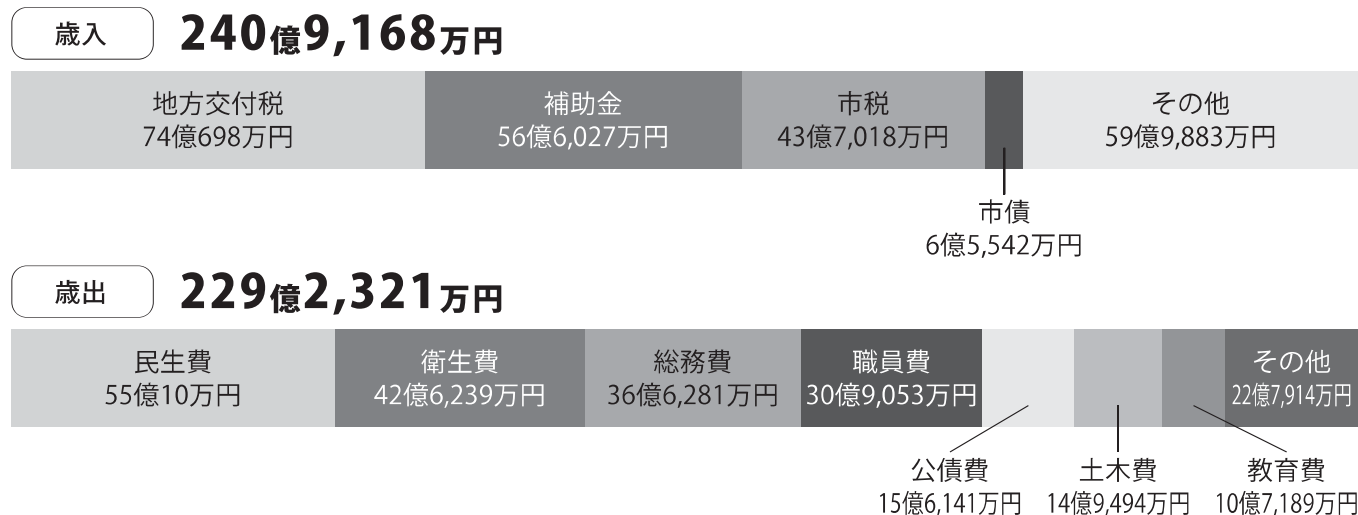


令和4年度の主な経費（一般会計）

※端数処理のため、合計が合わないことがあります。



民生費関係 …障がい者や高齢者に対する福祉、子育て支援などのための経費です。



- 障害者自立支援給付に要する経費
11億8,670万円
- 生活保護に要する経費
11億8,471万円
- 保育所等の運営管理に要する経費
8億4,324万円

衛生費関係 …ごみ処理や保健・医療など、健康で衛生的な生活を送るための経費です。



- じん芥の収集処理に要する経費
8億5,929万円
- 保健衛生対策に要する経費
5億8,532万円
- 感染症等対策に要する経費
4億1,296万円

教育費関係 …学校教育や生涯学習の充実、スポーツ振興などのための経費です。



- 学校給食の実施に要する経費
3億2,722万円
- 小学校費
2億3,031万円
- 中学校費
1億1,050万円
- 体育施設の運営管理に要する経費
7,201万円

土木費関係 …道路、橋、河川、公園の整備や除雪・排雪など、まちづくりのための経費です。



- 除雪・排雪対策に要する経費
6億2,504万円
- 道路の新設改良事業費
2億4,881万円
- 道路・橋りょうの維持に要する経費
1億5,718万円

まちの家計簿 決算と執行状況からみる市の財政

滝川市の令和4年度の一般会計・各特別会計・各企業会計の決算がまとまりました。皆さんから納めていただいた税金や国・道からの補助金などがどのように使われたのかをお知らせします。なお、令和4年度決算については、今年度の第3回滝川市議会定例会において審査の結果、認定されました。

令和4年度決算状況

決算とは、市に1年間に入ってきたお金(歳入)と使ったお金(歳出)の最終合計を表したものです。下の表のとおり、令和4年度の一般会計は歳入が240億円、歳出が229億円となっており、特別会計合計は、歳入99億円、歳出93億円となっています。

一般会計・特別会計 歳入歳出の決算状況

区分		歳入決算額 (1)	歳出決算額 (2)	歳入・歳出差引額 (3)=(1)-(2)	翌年度に繰り越すべき財源※ (4)	実質収支額 (3)-(4)
一般会計		240億9,168万円	229億2,321万円	11億6,847万円	593万円	11億6,254万円
特別会計	国民健康保険特別会計	45億6,645万円	45億6,645万円	0	0	0
	公営住宅事業特別会計	6億1,381万円	5億881万円	1億500万円	5万円	1億495万円
	介護保険特別会計・保険事業勘定	39億8,022万円	34億8,596万円	4億9,426万円	0	4億9,426万円
	介護保険特別会計・サービス事業勘定	1億373万円	6,129万円	4,244万円	0	4,244万円
	後期高齢者医療特別会計	6億8,496万円	6億8,418万円	78万円	0	78万円
特別会計合計		99億4,918万円	93億669万円	6億4,249万円	5万円	6億4,244万円
一般・特別会計合計		340億4,086万円	322億2,990万円	18億1,095万円	598万円	18億497万円

※端数処理のため、合計が合わないことがあります。

企業会計

下水道事業	収益的収支 (税抜)	
	収入	12億5,758万円
	支出	11億9,641万円
	差引	6,117万円
	資本的収支 (税込)	
	収入	5億3,694万円
	支出	9億9,615万円
	差引	△4億5,921万円

病院事業	収益的収支 (税抜)	
	収入	82億1,562万円
	支出	71億2,304万円
	差引	10億9,258万円
	資本的収支 (税込)	
	収入	2億8,632万円
	支出	7億1,152万円
	差引	△4億2,520万円

【一般会計・特別会計・企業会計とは】

行政に必要なすべての経費を一つの会計で扱うと、複雑で分かりにくくなってしまいます。このため、行政運営の基本的な経費(福祉や教育、土木など)を「一般会計」として、国民健康保険や公営住宅事業など、特定の事業にかかる経費を「特別会計」として管理しています。また、下水道事業と病院事業は、独立採算制の「企業会計」として経営を管理しています。

健全化判断比率

指 標	結 果	早期健全化基準※	各指標の内容
実質赤字比率	数値なし	13.06%	一般会計を中心とした赤字の割合を表す指標です。
連結実質赤字比率	数値なし	18.06%	一般会計のほか、特別・企業会計も含めた全会計の赤字の割合を表す指標です。
実質公債費比率	7.5%	25%	市の平均的な年間収入に対する借金返済額の割合を表す指標です。
将来負担比率	32.1%	350%	市の平均的な年間収入に対する将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合を表す指標です。

※この基準を超えると国の定めに従い、健全化に向けた取り組みが必要となります。

指 標	結 果	経営健全化基準※	指標の内容
資金不足 比率	下水道事業 数値なし	20%	公営企業(滝川市は下水道事業・病院事業会計が該当します)の資金不足額が、事業規模に対してどの程度の割合なのかを表す指標です。
	病院事業 数値なし	20%	

※資金不足比率が経営健全化基準を上回った場合には、経営健全化計画を策定し、経営の健全化に努めなければなりません。

令和 5 年度予算の執行状況 令和 5 年 9 月末現在

▼各会計の現在高

		予算額	収入済額	執行率(対予算)	支出済額	執行率(対予算)
特 別 会 計	一般会計	230億2,128万円	112億6,928万円	49.0%	101億1,374万円	43.9%
	国民健康保険	44億1,814万円	19億 613万円	43.1%	17億8,938万円	40.5%
	公営住宅	7億2,485万円	2億3,758万円	32.8%	1億7,674万円	24.4%
	介護保険	39億9,195万円	22億9,371万円	57.5%	14億6,261万円	36.6%
	後期高齢者	7億2,116万円	3億5,111万円	48.7%	2億3,191万円	32.2%

▼企業会計の現在高

		収 入			支 出		
		予算額	執行済額	執行率(対予算)	予算額	執行済額	執行率(対予算)
下 水 道 事 業	収益的収支	13億1,526万円	5億5,964万円	42.5%	12億9,921万円	2億3,836万円	18.3%
	資本的収支	4億8,129万円	1億 780万円	22.4%	9億7,983万円	4億9,173万円	50.2%
病 院 事 業	収益的収支	76億2,797万円	20億2,363万円	26.5%	75億9,678万円	26億5,499万円	34.9%
	資本的収支	8億5,610万円	397万円	0.5%	13億 57万円	2億5,898万円	19.9%

▼一時借入金の現在高

令和 5 年 9 月末現在の一時借入金の残高は 0 円です。
※市が一時的に資金不足となった場合、金融機関から借りるお金を「一時借入金」といいます。



問合先 財政課 Tel.28-8008

市の財産(令和 4 年度末)

土 地  1,406万㎡	建 物  32万㎡	基 金  現金など 72億4,086万円	有価証券  3,495万円	出資金  37億899万円
---	--	--	--	--

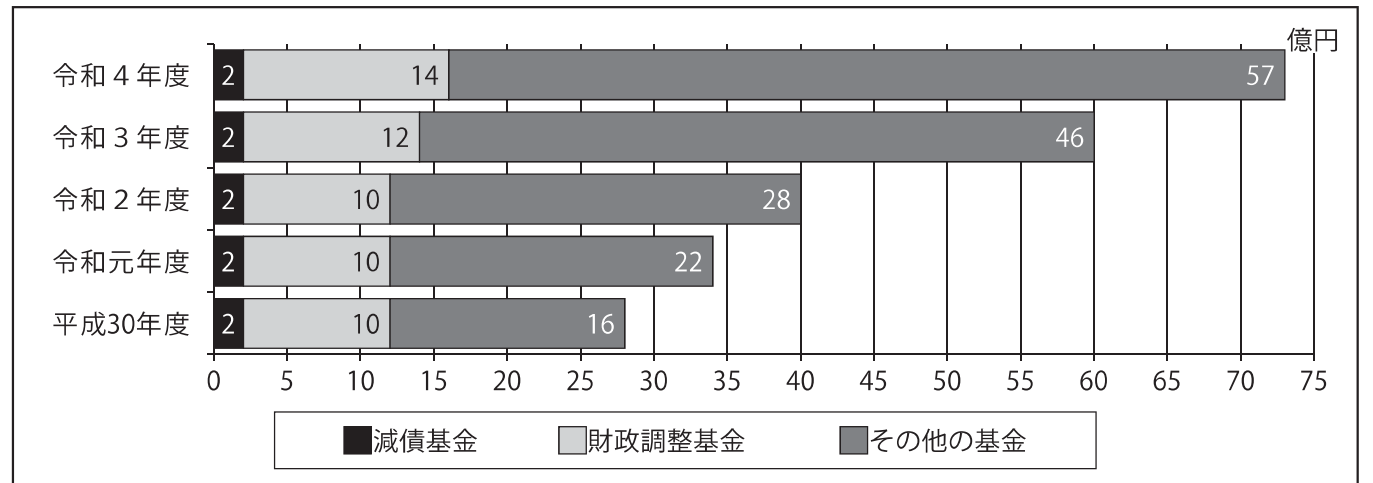
市債の現在高と基金残高推移(令和 4 年度末)

▼市債(市の借金)の現在高

会 計	金 額
一般会計	143億4,045万円
公営住宅事業特別会計	23億2,702万円
下水道事業会計	54億 452万円
病院事業会計	72億6,649万円
合 計	293億3,848万円



▼基金(市の貯金)残高推移



※減債基金とは、将来の借金の返済に備え、積み立てる基金です。

※財政調整基金とは、年度によって生じる財源の不均衡を調整するための基金です。

市民 1 人当たりの金額

令和 4 年度決算を基に税金(国民健康保険税除く)、借金(一般会計分)、貯金を 1 人当たりに置き換えてみました。

- 市民 1 人が納めた税金…………… 115,954円
- 市民 1 人の貯金(基金) …………… 192,121円
- 市民 1 人の借金(市債) …………… 380,494円

※ただし、市債の63.1%は国から地方交付税として戻してもらえる制度がありますので、実質的な市民 1 人の借金(市債)は 140,377円となります。